

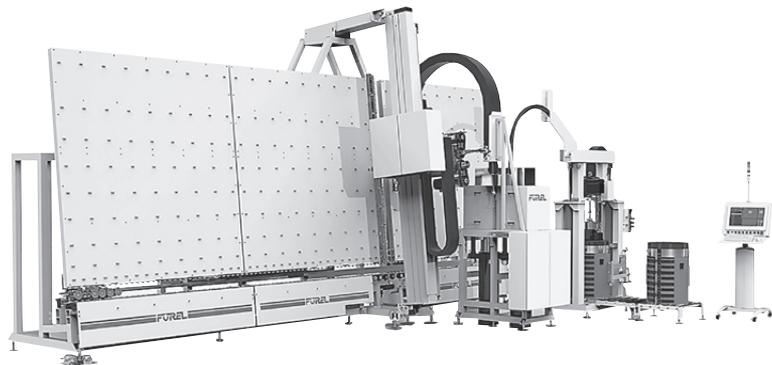
TGM

複層ラインを自動化

熱可塑性樹脂スペーサーで実現

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長 03・6261・1260)は、イタリア・フォーレル社のサーモプラスチックスペーサー塗布装置(アプリケーター)「ART・TA」を販売している。サーモプラスチックスペーサーは熱可塑性樹脂製で、高断熱な性能だけでなく、製造時に高いレベルでの自動化・省人化を実現でき、世界的に需要が高まっている。同社はイタリア・フェンジー社製のサーモプラスチックスペーサー材「ブチルバートPS」も取り扱っており、サーモプラスチックスペーサー複層ガラス製造ラインの設置から副資材の供給までワンストップで提供する。

サーモプラスチックスペーサーは、従来のアルミスペーサーなどに代表



複層ガラス製造ライン

フォーレル社のサーモプラスチックスペーサー塗布装置「ART・TA」(上)は、フォーレル社の複層ガラス製造ライン「ハイテックライン」シリーズに組み込むことができる

されるリジッドタイプとは

異なる、材料をガラスに直接塗布することで成形する。主成分はポリイソブチルで、ガラスとの接着性に優れており、リジッドタイプで用いられている1次シールが不要。材料にはあらかじめ乾燥剤成分が混合されており、乾燥剤の封入も不要となる。

リジッドタイプは複層ガラスの空気層幅に合ったサイズのスペーサー・アクセサリーの在庫が必要だが、サーモプラスチック

ックススペーサーはドラムの材料があれば、アプリケーターが空気層幅を調整して押し出して塗布する。ドラム缶以外の在庫が要らないので省スペース化でき、スペーサーの組み立て・貼付の工程を省いて自動化・省人化できる。リジッドタイプの樹脂スペーサーに比べ高い断熱性を持つ。

サーモプラスチックスペーサーの導入には専用アプリケーターの他、対応した複層ガラス製造ラインが必要。フォーレル

社の複層ガラス製造ラインは、対応可能なガラスサイズと製造可能な複層ガラスの種類に応じて「レジデンシャルライン」(最大ガラスサイズ2・5×4^{1/2})、「ハイテックライン」(同3・3×6^{1/2})、「ノリミットライン」(同3・3×12^{1/2})の3種がある。サーモプラスチックスペーサーアプリケーター「ART・TA」は、「ハイテックライン」シリーズに組み込むことが



フェンジー社のサーモプラスチックスペーサー材「ブチルバートPS」

でき、世界中で導入が進む。ガラス投入後は人の手を介さず複層ガラスを製造できるので高いレベルで自動化でき、今後ますます加速していく省人化の需要に応える。「ART・TA」で形成可能なスペーサーの形状は、高さが標準7ミ、空気層は6・20ミ(調整可能)。サーモプラスチックスペーサー材を高温でコントロールし、ガラス上に直接塗布してスペーサーを形成する。フェンジー社は、フォーレル社のアプリケーターと好適に組み合わせ使用できるサーモプラスチックスペーサー材「ブチルバートPS」シリーズを供給。世界的に高まっているサーモプラスチックスペーサーの需要に応えるため、製造ライン、倉庫の増強など積極的に投資している。「ブチルバートPS」は1ドラム215キ入りで、標準荷姿は1パレットに2ドラム積載。他に、複層ガラス用2次シール材「チオバー」シリーズも販売しており、サーモプラスチックスペーサーとの相性を保証する。